

令和2年度

徳島県立城ノ内中等教育学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 生徒の自主性や協調性を伸ばす授業の実践
- 個性や創造性を伸ばす授業の実践

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員
高石裕介
(進路指導課長)

委員 湊雅邦(校長), 中野里佳(教頭), 井上貴文(教務課長), 三橋延世(第3学年主任・理科主任), 山田王代(第2学年主任・英語科主任), 篠原貴道(第1学年主任・数学科主任), 坂田雅也(社会科主任), 蟻井美美(国語科主任)

校長

湊 雅邦 [印]

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等, 様々な機会を捉え, 取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み, 学習の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況	次年度における改善事項
○各教科等において, 基礎的・基本的な知識・技能については習得率も高く, 課題に真面目に取り組むことができる。 ●与えられた課題に真面目に取り組むことはできているが, 自主的に創意工夫を行った学習ができている生徒は多くはない。また, 苦手教科において知識・技能の習得が十分であるとは言えない生徒もいる。	・知識・技能を確実に身につけ, 既習の知識・技能と関連づけて活用することができる。 ・自主的に家庭学習に取り組み, 学習時間が各学年の掲げる目標時間に達している。 目標時間 1年生:100分 2年生:120分 3年生:140分	・定期考査において, 基礎的・基本的な知識・技能を問う問題を誤答した生徒への学習支援を, 考査後の補習や課題の提出等により行う。 ・学習実態調査を行い, 生徒に自分自身の学習時間を振り返らせる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況	次年度における改善事項
○話すことや書くことを通して, 自分の感想や考えを表現することができる。より高度で豊かに表現できることをめざし, 他者から学びながら意欲的に取り組むことができる。 ●設定された課題については取り組むことができるが, 主体的に考え, 判断しようとする生徒は多くはない。必要な情報を整理して, 新たな考えで課題を解決しようとすることができない生徒がいる。	・学習活動において, その目的・目標を明確に理解し, それに照らし合わせて課題をつかみ, 自分の考えをわかりやすく話したり書いたりすることができる。 ・他者の考えを取り入れ, 課題を様々な視点で捉え, 新しい課題を設定したり, 新しい考え方を表現したりすることができる。	・すべての教科でペア学習やグループ学習の機会を取り入れ, 言語活動を充実させるとともに, 習得した知識・技能を実際に使用する場面を増やす。 ・ホワイトボードやICTを効果的に活用し, 生徒の表現活動を充実させ, 考えを深めさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して, 一生懸命に取り組む, 家庭学習にも主体的に取り組むことができる。毎朝の読書活動では自分の興味・関心に応じた本を選び, 意欲的に取り組むことができる。 ●英語検定, 数学検定, 漢字検定に積極的に取り組む生徒は多いが, 本校が推奨する全員3級合格は達成できていない。	・創意工夫しながら学ぶことを楽しむとともに, 授業や様々な活動に一生懸命取り組む過程を大切に, 自分の夢の実現に向けて努力することができる。 ・各種検定への挑戦など, 自ら高い目標を定め, 主体的に学習し課題に取り組むことができる。	・各教科の授業において, 学習に主体的に取り組むことができるように, すべての教員が相互に授業参観を設定し, 授業の改善を行う。 ・各教科担任により検定に取り組むことの意義を伝える。			

令和2年度 学力向上ロードマップ

※ 下記のマップは4月時点での計画であり, 学校再開時期に応じて, 適宜変更もあり得る。

